

令和4年2月17日

政 策 部

小学生とコラボ企画した市報からつ9月号が
市町広報コンクールで最優秀を受賞しました

概要

佐賀県が実施している令和4年市町広報コンクールの広報誌部門で市報からつ9月号が最優秀を受賞しました。

1 内容

令和4年市町広報コンクール広報誌部門 最優秀 市報からつ9月号
(応募数 市部：9紙、町部：2紙)

市報200号記念として企画した小学生とのコラボ企画「市報のページを作ってみよう！」が評価されました。

※講評結果は、別紙のとおり

2 最近の受賞歴（過去5年）

平成30年 映像部門：最優秀（Qサバ）、広報写真部門：佳作

平成31年 映像部門：優秀（明治維新150年）

令和2年 広報誌部門：佳作、映像部門：佳作

令和3年 映像部門：佳作

令和4年 広報誌部門：最優秀（市報9月号）、映像部門：佳作

※広報誌部門での最優秀受賞は市町村合併後初です。

3 その他

今回の最優秀受賞に伴い、全国広報コンクールへ出品します。

今後も分かりやすい情報発信に努めて参ります。

(本件の問い合わせ先)

担当：政策部 市政広報課 石橋、萩原

電話：72-9189 内線：1342

令和4年市町広報コンクール入選作品講評

広報紙の部

○最優秀 唐津市「市報からつ」(令和3年9月号)

(表紙)

(特集記事)



【講評】

(企画)

- ・単なる情報ではなく、社会への波及効果を含めた企画はまさに広報誌が目指すべきもの。子どもが地元を深く知るきっかけとなるだけでなく、子どもたちが執筆することにより、普段市報を読まない人の関心もひくだろう。年に1回とか定期企画にすると良いのでは。
- ・大変だったと思うが、子どもたちと一緒に市報制作をした、というところが魅力だと思う。出来栄とかじゃないのはよくわかる。
- ・小学生が一生懸命増田敬太郎巡査についてレポートしているが、小学生の記事をいきなり載せるのではなく、3ページの導入ページで、小学生が扱ったテーマについての解説まであったら、小学生の記事に入りやすかった。

(文章)

- ・自由研究の発表を見るような感覚で、特集は読めた。
- ・子供たちにとっていい経験になったと思う。
- ・最初に広報課の企画意図が説明されている。特に選んだ理由があるのが広報誌らしくて良い。
- ・子どもによる記事も構成がしっかりしている。できれば子どもの感想も読みたい。
- ・市民向け情報も充実している。「手話講座」などを含め「広報誌」の役割をきちんと捉えている誌面づくり。

(デザイン・レイアウト)

- ・子どもの書き文字をそのまま使っていることを高評価したい。
- ・壁新聞のようなイメージで読む前から良い印象を持った。
- ・情報ひろばの暮らし/相談ページは、けっこう見づらい。
- ・表紙が「唐ワンくん」になっているが、唐津らしくていいと思う。